長野県佐久市にみる

ポストコロナの地域経済 ㊦

データ活用、企業連携 弾みに

3氏が語る成長戦略

地元企業や関係機関を巻き込みながら健康長寿社会の実現へ向けたプロジェクトが始動する長野県佐久市。中心メンバーである企業経営者3氏が、コロナ後を見据えた企業経営や地域経済の成長に寄せる思いを語る。

サワイ社長　澤井 孝幸氏

従業員の健康、経営視点で

工作機械をはじめ幅広い産業向けに精密機械金属加工を手がける当社は、従業員の健康管理と幸せを経営の視点で捉え戦略的に取り組んできた。資源に乏しい日本を支える製造業のエンジニアを継続的に育てるためで、佐久市内の製造業の中で最も早く「健康経営優良法人」の認定を取得したのもそのひとつ。こうした視点を地域経済の活性化や安心して暮らせるまちづくりにつなげていきたい。

目指すのはウエアブル端末を通じた健康データの収集と活用基盤の構築。佐久産業支援センター（SOIC）にプロジェクトが発足し2023年度は本格的な実証段階に入る。

参加するのは地域の製造業やIT企業、医療・介護施設など多様な顔ぶれで、データの分析・検証では信州大学社会基盤研究所が協力を表明。さらに多くの企業や団体と連携したいと考えている。

当面の目的は、まずは不健康と自覚する層を抽出し、健康の阻害要因を分析し行動変容につなげること。クラウドデータ活用を通じたアプローチは新たなビジネスや関連産業の創出につながることが期待される一方、個人データの扱いや端末開発、仕様策定などの課題もある。だが、健康長寿の取り組みが歴史的に根付く佐久の「博愛精神」に、ビッグデータを原動力とする技術革新が加味されることで、社会課題の解決と地域経済の成長の双方が実現できると可能性を感じる。（談）

吉田工業社長　吉田 寧裕氏

初の自社商品開発に挑む

数年前に実施した従業員への意識調査。その結果にがくぜんとした。当社はアルミ鋳造と精密切削技術を軸に自動車部品製造を中心としながら、事業領域を広げるとともに、中国やタイに拠点を構えるなど海外展開も進めてきた。だが従業員は必ずしも規模拡大ばかりを望んでいたわけではない実情が調査から浮き彫りになった。

この先、どんな経営を目指すべきか。自問自答を繰り返す中で見えてきたのはコロナ後を見据えた戦略。一人ひとりの健康や事業の持続可能性を追求するべきだ。こう考えると、事業の方向性にも変化がみられるようになった。地元の企業や関係機関とのつながりを生かした製品開発はそのひとつである。

端緒はスキーストック製造のシナノ（長野県佐久市）と共同開発した車椅子につないで酸素ボンベを運搬する装置。一方、当社にとって初の自社商品となったのは足踏み式の消毒液噴霧機。電源不要のため設置場所を選ばないことに加え、消毒液補充の負担軽減を図るため大容量タンクを備えている。ネット販売にも乗り出したところだ。

医療機関と地域の結びつきが強いのが佐久の特徴の一つである。こうした地域性を生かした製品開発や医工連携をさらに進めたいと考えている。そのためには医療、介護の最前線を支える現場ニーズに一層、耳を傾ける必要がある。（談）

マイクロストーン社長　白鳥 敬日瑚（のりひこ）氏

正しい歩行、全国に発信

人の動きや機械の揺れを検出するセンサーや応用製品を開発する当社が注力するのが、小中学生への歩行指導。歩き方の癖を解析して改善に生かすシステムや計測結果をクラウドに保存してデータ分析ができるサービスの開発を進めている。地域住民の健康増進につなげたい自治体や医療機関、労働安全対策につなげたい企業からも多様な活用ニーズが見込まれる。

これらシステムの実証やデータ解析を進める上で大きかったのは地元の企業や大学、医療機関の協力。コロナ後を見据えた新たな事業がまさに花開こうとするいま、連携の土壌が根付く佐久の地域性や強みをあらためて実感する。

人工知能（AI）を用いた歩行計測を通じて、正しい姿勢を身に付ける歩行指導の取り組みは、コロナ禍で外遊びの機会が減少している子どもたちの運動習慣の見直しや改善のきっかけとなり、健康への意識を高めることにつながる。22年には、歩行を通じて佐久から全国へ健康な身体づくりを目指す新法人「レインボー・ウォーキング（理事長＝Jリーグ前チェアマン村井満氏）」も設立した。長野県内の市町村だけでなく東京都教育委員会も関心を示している。将来的には澤井さんらが中心となり基盤整備を進める健康データ活用のプロジェクトとの連携も視野にある。（談）

（編集委員・神崎明子が担当しました）

オンライン子育て相談

大津市に提供

アスコエパートナーズ

アスコエパートナーズ（東京都港区、安井秀行社長）は大津市で、オンライン相談型掲示板のみんなの相談室「KIKOCCA（キコッカ）」のサービス提供を始めた。情報通信技術（ICT）を活用した子育てに関する相談体制の構築を目的に、大津市の子育て支援情報アプリケーション「とも☆育」において機能を提供する。

キコッカは、子育てに関する不安や悩みを抱える人が、気軽にオンライン上で行政の専門家に相談することができるよう開発された。利用者全員がオンライン上で、相談内容や専門家の回答を共有できる。日中は時間がなくできない相談なども、同機能を活用すれば、時間を気にせずオンライン上での相談が可能になる。

アスコエパートナーズは自治体公式子育て支援サイト・アプリ「子育てタウン」を運営している。住民と自治体職員、双方の利用者視点のサービスデザインが特徴で、全国1000以上の自治体で導入されている。

仏機関から宇宙建築研究受託

Space quarters

Space quarters（東京都渋谷区、大西正悟最高経営責任者〈CEO〉）は、フランスの政府機関であるフランス国立宇宙センターから、宇宙建築技術の研究を正式に受託した。建築技術の市場性や、既存の古い宇宙建築技術との比較検討、それらの技術の適用方法や適用分野に関して研究結果を2023年に報告。連携強化を検討する。

現在宇宙空間では、民間宇宙ステーションの運用に向け、大型建造物のプロジェクトが計画されている。ただ既存技術では建築が難しいほか、費用が膨大などの課題が出ている。

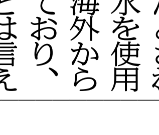
おことわり　「輝け！スタートアップ」は休みました。

テラス

ニーズに気付く

▽…「視点を変えた取り組みが必要」と語るのは、ゼロワン（京都市下京区）社長の猪飼昭嗣さん。富士通グループを主な取引先としてシステム開発などを手がける。

▽…従来は開発請負が中心だったが「最近は上流工程が多い」。求められる機能を正確に把握し、仕様書に落とし込むことが必要なため「顧客の現場を見てニーズに気付ける感性が欲しい」と話す。



猪飼さん

▽…IT業界は人材不足が深刻。同社は第二新卒や若手の転職者を積極的に採用する。「時間はかかっても育てないとやっていけない」と結論づける。

激動の経営

DG TAKANO ②

ルーツは町工場

水の節減と高い洗浄力を両立した節水ノズル「バブル90」を手がけるDG TAKANO（東京都台東区）。

ルーツは社長である高野雅彰の祖父、敬三が創業した高野精工社にさかのぼる。

敬三は東大阪の地に、全国でも数社しかなかったガスコック工場を立ち上げた。「圧力のかかったガスを金属の面と面だけで止めるためには1000分の3ミリ以下の精度が必要」（雅彰）とされる。高い技術力が求められる世界で敬三は数人の職人とともに部品製造に明け暮れた。丁寧な仕事ぶりが評価され事業も軌道に乗ったが、がんで急逝。まだ20代だった父の善行が会社を継ぐこととなる。

起業、節水ビジネスへ

町工場で部品製造する社長の高野の父、善行（DG TAKANO提供）

代替わりに伴い職人が一斉に退職したため、2代目の善行は「一人で同時に八つの機械を動かしていた」（同）。当時は珍しかった自動加工機も導入し、工場に半年泊まり込んで使い方を習得。生産を増やし、シェアを拡大していく。

技術があっても

そんな父の背中を見て育った雅彰だったが、「工場を継ぐつもりは1ミリもなかった」（同）。活況だった東大阪の町工場も、バブル崩壊後はその数が激減。父も息子に家業を継がせたいとは言わなかった。「いくら技術があっても、時代に必要とされなくなれば捨てられてしまう」（同）。運任せの町工場で一生を終える選択肢は雅彰にはなかった。

時代に必要とされる技術を

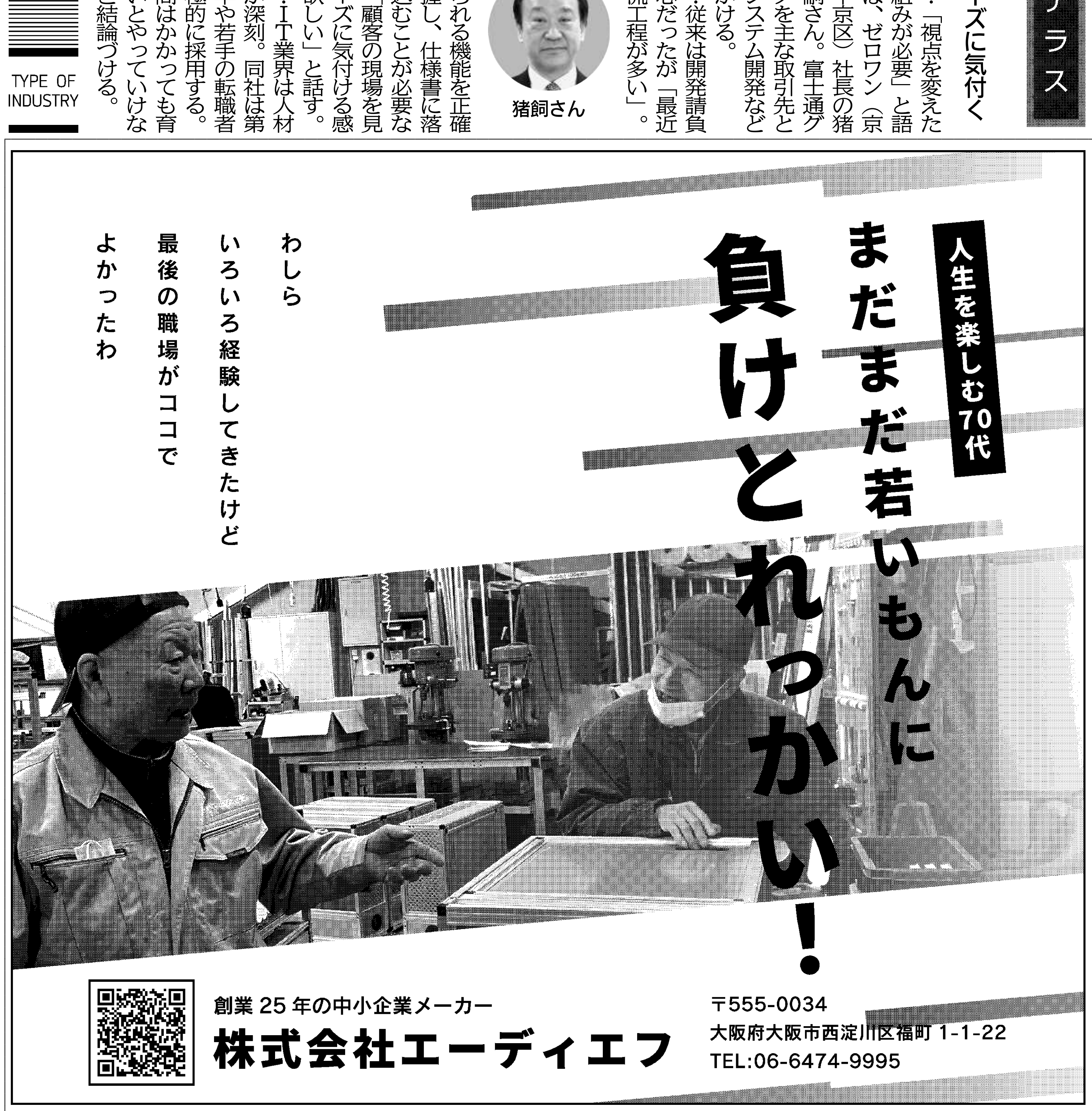
大学卒業後、IT企業に勤めた雅彰だったが、周りの大人が与えられた仕事だけをこなし、人生に不平をこぼす様子に疑問を抱くようになる。「仕事は夢をかなえるための手段であり、生き生きとするべきもののはずだ」。起業の夢を持っていた高野は一通りのビジネスマナーを学んだ後、3年と立たずに会社を辞めた。

水資源の重要性

多くの人が夢をかなえられる社会を作りたい―。高野は時代に左右されず、豊かな人生や未来的な社会を設計するためのデザイン会社「デザイナーズギルド」を設立。知り合いから持ちかけられた節水ビジネスに興味が湧き、需要や業界展望を調べ始める。

水不足は世界で最も深刻な問題の一つだ。十分に水を確保できない人の数は2050年には50億人を上回るとされ、国際連合は水資源管理の重要性を各国に訴える。日本は水資源が豊富な国だとされるが、大量の水を使用する畜産物を海外からの輸入に頼っており、水不足と無縁とは言えない。

「節水のニーズがあることはわかった。あとは他社に圧倒的な性能差をつければいい」（高野）。当時の節水製品は出水量を減らすことはできても、水の勢いを殺してしまっていた。洗浄と両立できる節水製品を作れば勝てる―。高野の挑戦が始まった。（敬称略）



人生を楽しむ70代
まだまだ若いもんに
負けとれっかい！

わしら
いろいろ経験してきたけど
最後の職場がココで
よかったわ

創業25年の中小企業メーカー
株式会社エーディエフ
〒555-0034
大阪府大阪市西淀川区福町 1-1-22
TEL:06-6474-9995

半導体製造装置部品のアルミ加工
白・黒アルマイト 希望価格指値して下さい！ 出来る限りご協力致します！
350×1,250×4,000L まで可能　1ヶからもどうぞ！！
お客様へ スピード納入 地方発送も毎日行っております
電機部品、機械部品、プレス部品等、数量が多いもの、安くてもOKです！ 特急で、見積・ご連絡申し上げます！
見積・注文専用／FAX 03-3763-0803
サシネのサンアル
サシネのサンライズ
株式会社 サンライズ 大森工場 〒143-0015 東京都大田区大森西1-18-25
TEL.03-3763-0801 FAX.03-3763-0803
見積依頼はお気軽に!!
安いアルミ材料はサンアルへ
希望価格を指値して下さい！
マシニング加工も ㈱サンアルへ指値して下さい。
サシネのサンアル
サシネのサンライズ
株式会社サンアル
黒にんにく販売中
〒146-0095 東京都大田区多摩川2-29-12
TEL.03-3758-4010 FAX.03-3759-1795
半導体製造装置部品のアルミ加工
半導体製造装置部品のアルミ加工
半導体製造装置部品のアルミ加工